

事業所名

放課後等デイサービス みらい

支援プログラム

作成日

令和6 年 4 月 1 日

(別添資料1)

法人（事業所）理念		・子ども達と未来を創る。・一人ひとりの個性を尊重する。・支え合い、学び合い、楽しく、感謝の気持ちを忘れない心を育てる。								
支援方針		「遊びながら学べる療育支援」「子どもは遊ぶのが仕事」という言葉もあるように、障がいの有無にかかわらず、子どもにとっての遊びはとても大切な成長のチャンスと考えてます。療育支援を遊びながら行うことにより、楽しみながら様々なサポートを提供していきます。								
営業時間		平日	10 時	0 分	から	19 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり
営業時間		祝日	8 時	0 分	から	17 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容										
本人 支援	健康・生活	・ 基本的な生活スキル獲得（挨拶、手洗い、トイレ、着替え等の支援） ・ リハビリテーション（運動療育による支援） ・ ホワイトボードに見通しが立てられるようにリストを作成し、当日の流れを確認する事やスケジュールをチェックする事を意識付けてあげたり、タイマーを使って場面の切り替えを強化するなど、一人ひとりに合った支援をしていく。								
	運動・感覚	・ 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上。器具、遊具を使って体幹の強化をする。体幹を鍛える事により着席行動の維持を図る。 ・ 公園や施設の遊具を用いて更なる体力強化に努める。・ 指先の感覚や体の動き、力加減等を学び、理解をもたせる。（ボールやリズム遊び、体操） ・ 知育玩具の使用や季節の工作などを通して、指先の細かい動きが習得できるよう促す。 ・ 公園遊びなどを通して、自								
	認知・行動	・ 感覚や認知の活用（リズムに合わせた運動療育） ・ 知覚からの行動（視覚・聴覚・触覚等感覚機能を重視した取り組み） ・ 認知や行動の手がかりとなる概念の形成（LaQやくみくみスロープ等創作活								
	言語 コミュニケーション	・ 言語の形成と活用（絵カード等を使ったことばのSST） ・ 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得（小集団での運動療育・集団遊び・伝言ゲーム等）								
	人間関係 社会性	模倣行動の支援（ごっこ遊び・模擬店の実施） ・ 感覚運動遊びから象徴遊びへの支援（器具を使用したごっこ遊びの支援） ・ 一人遊びからの協働・協同遊びへの支援（役割分担を決めた集団遊び、サッカー								
家族支援		・ 子どもの信頼感を育むと共に、子どもの感情や不安に寄り添い家族や周囲の人と安定した関係を継続する為の支援 ・ 家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助 ・ 子どもの発達上のニーズについての気づきの促しとその後の支援 ・ 保護者同士の交			移行支援		・ 具体的な移行先との調整 ・ 移行先との支援方針、支援内容の共有や、子どもの状態、親の意向、支援方法についての伝達 ・ 家族への情報提供・移行先への受入体制づくりへの協力や相談援助 ・ 併用利用の場合の利用日数や利用時間等			
地域支援・地域連携		・ 学童など利用している児童について、学童での困りごとや課題を明確にしています			職員の質の向上		・ 事業所内で研修をひらき職員のスキル向上に向けて日々努力しています			
主な行事等		季節の行事（クリスマス、夏祭り、運動会、ハロウィン、風揚げ、プール、節分、定期的に保護者を含めて親子療育活動）								